

脳を知り脳を活かす

東京大学大学院薬学系研究科教授

池いけ谷がや裕ゆう二じ

- *頭の良さをあらわす三つの要素
- *やる気はどうしたら生まれるか
- *笑顔をつくらせたら楽しくなる
- *脳から体ではなく体から脳へ
- *記憶は年齢とともに衰えない
- *海馬からでるシータ波に注目
- *マンネリ化は脳の敵
- *先の見えない時代の適応力とは何か
- *内発的動機こそが重要に
- *人工知能が強いのはビッグデータ分野



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は東大の池谷先生においでいただきました。先生は東大の理科一類から薬学部に進まれ、大学院で博士号を取得され、それからコロナビア大学で研究員をされ、その後日本に戻られて、現在は薬学部の教授をされております。先ほど伺いましたらいちばんのご専門は人工知能だそうですね。ところでございますが、これもたいへん興味の深いところでございますが、今日は「やる気」ということで、これを科学的に見ていくとどうなるか。皆さんも脳がだんだん衰えていくと心配さるれておられると思いますが、人間の脳はどういうもので、これをどう活かしたらいいか、じっくりお聞きいただきたい。それでは先生よろしくお願いたします。（拍手）

頭の良さをあらわす三つの要素

池谷 皆さんこんにちは。東大の薬学部から参りました池谷と申します。よろしくお願いたします。

私はあまり講演をしません。研究に専念するためにしないんですけれども、今日は私にとつて珍しい機会をいただきまして関係者の皆様にご挨拶申し上げます。と同時に、今そこから入ってきて大分びっくりしたんですけれども、いつもと違う場所に来たような感じがするんです（笑）。私は人前で話すといったら講演ではなくて、もっぱら授業です。授業は毎週やっていますので、いづくかの点で違っていますけれども、いづくかの点で違っています。出席率は出座率です。